

「ファミリー世帯のニーズを捉えた居住環境の創出」及び「地域のまちなみに調和した景観形成」並びに「実現性の高い建設コストの縮減策」についての提案

地域と共に暮らす豊かであたたかい集住のかたち



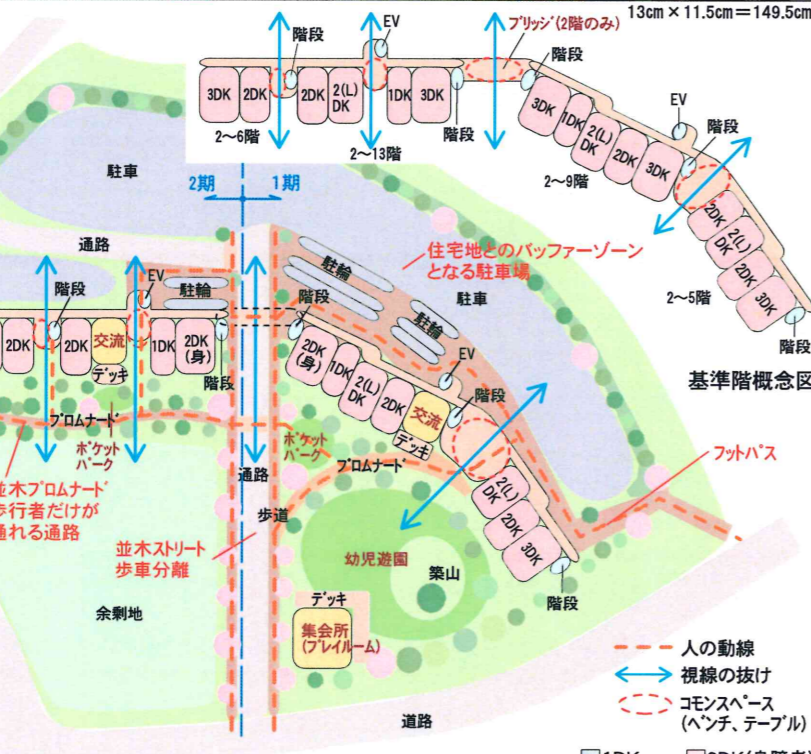
山並みを背景に建つ住棟群



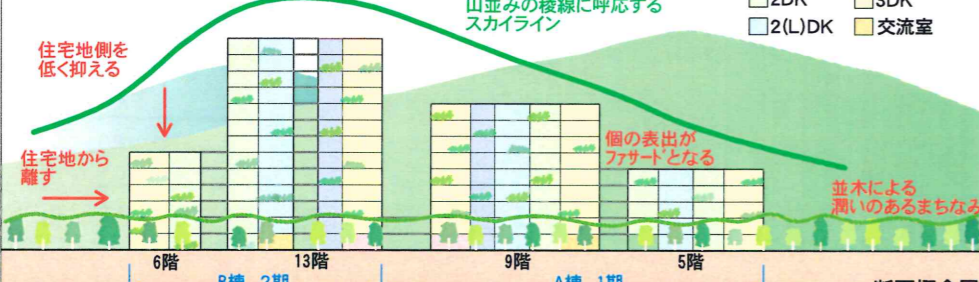
並木ストリート

まちなみバルコニー

住戸	1期	2期	計
1DK	13	9	22
2DK	19	18	37
2DK(身)	1	1	2
2(L)DK	12	14	26
3DK	18	21	39
計	63	63	126



配置・1階概念図



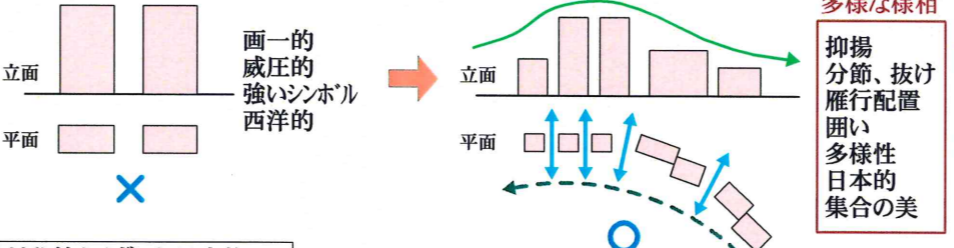
断面概念図

テーマ2:「地域のまちなみに調和した景観形成」について

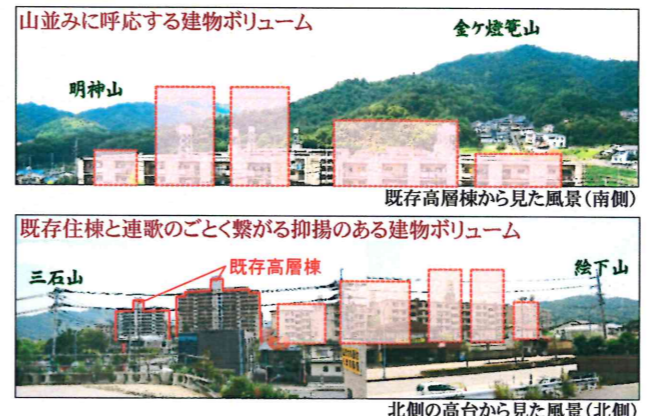
熊野町の風景に溶け込む景観づくり

●熊野の山並みに呼応する風景の創出(遠景)

熊野は、山に囲まれた地形で、まちなみの向こうには、折り重なる山並みが見えます。その山の稜線に呼応する抑揚のある建物ボリュームを計画します。対称性を崩した日本的な景観構成(くずしの美学)にもつながるやわらかい構成が、熊野の風景に調和します。

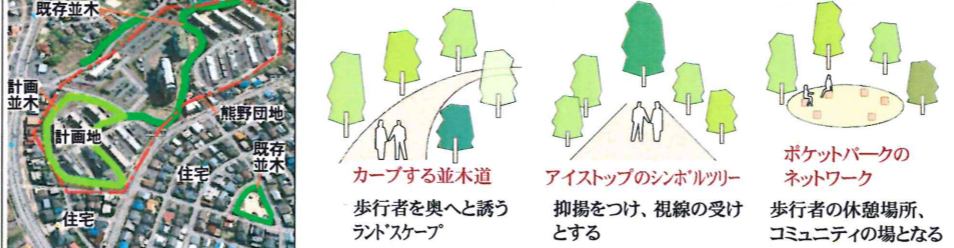


対称性をくずした日本的景観構成(くずしの美学)



●並木が街並みをつなげる(中景)

計画地の周辺は、緑地がまばらに整備されています。これらをつなげて敷地周囲に並木を整備することで、統一感のある街並みを形成するだけでなく、隣接する住宅のパufferにもなります。



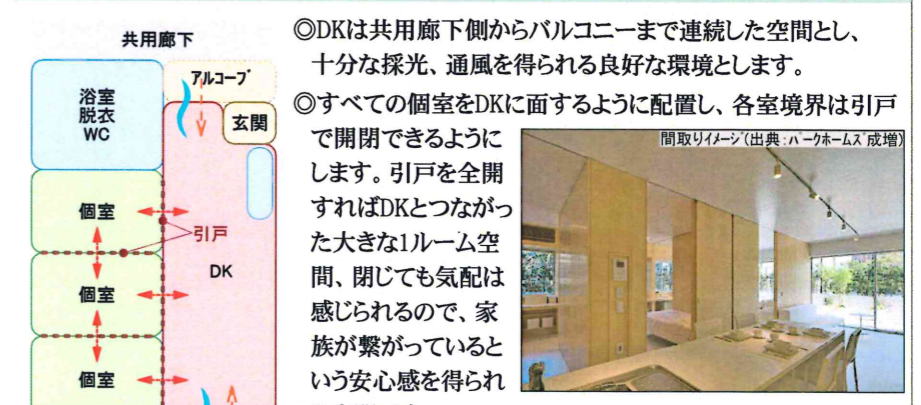
●個の表出がまちなみを彩る(近景)



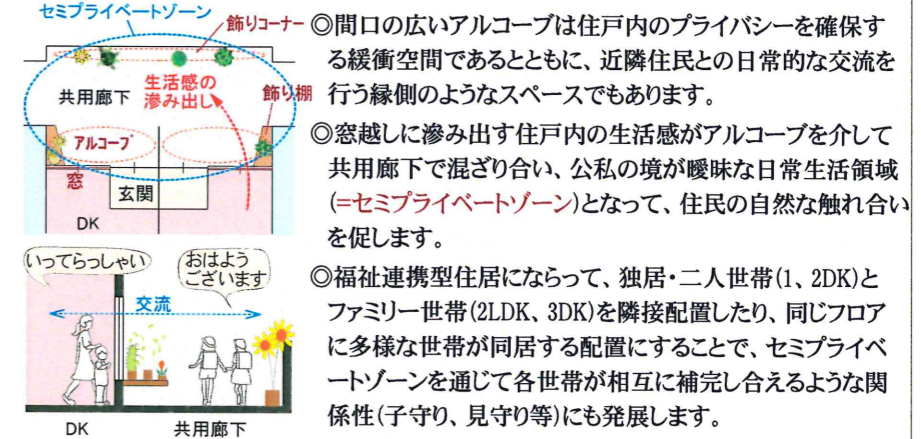
テーマ1:「ファミリー世帯のニーズを捉えた居住環境の創出」について

「つながり」を育むすまいづくり

●家族とのつながりを感じられる間取り



●近隣住民をつなげるセミプライベートゾーン



●つながりを広げる



テーマ3:「実現性の高い建設コストの縮減策」について

